



毎月定例会を開いて情報を共有します。現在の隊員数は21人。左端が北原経隊長。



飯館村鳥獣被害対策実施隊

狩猟免許取得にかかる経費の一部を補助します

村内に住所がある方の狩猟免許の取得にかかる経費の一部を補助しています。詳しくは農政第二係まで。
☎0244-42-1625

震災の翌年から再開地道に続く捕獲活動
全村避難から約1年が経過した平成24年5月から、避難中の村内で活動を再開した「飯館村鳥獣被害対策実施隊」（再開当時の名称は有害鳥獣捕獲隊）。以来、隊員の地道な活動により、農地を荒らすイノシシ、サルなどの捕獲が進められています。
現在は2人1組でパトロールを行い、追い払いや捕獲、箱ワナの設置など、村内の農地を鳥獣被害から守る活動を行っています。

実施隊の活動の目的は、農地を守ることです。毎月定例会を開き、射撃の訓練を行い、週3回のパトロールを続けています。
また、ワナにかかれば野生動物ですから危険もあります。隊員に怪我や事故がないよう注意を呼びかけながら活動しています。
令和3年度はサルワナに予算が付き、サル駆除プロジェクトも始まりました。7人のチームで活動し成果を上げています。
また今年度は、イノシシの捕獲頭数が大きく減少しています。原因はまだ分かっていませんが、対策の成果や村民の努力の甲斐もあるのではないのでしょうか。
仕事をしながら活動している隊員もいます。隊員の高齢化に対応するためにも、1人でも多くのインターに、隊に加わっていただけたらと思っています。

飯館村鳥獣被害対策実施隊
隊長 北原 経さん(宮内)

特集1

鳥獣被害を防ごう

力を合わせて被害対策

飯館村鳥獣被害対策実施隊
イノシシ・サル捕獲頭数の推移

	イノシシ	サル
平成24年度	59頭	4頭
平成25年度	221頭	8頭
平成26年度	100頭	5頭
平成27年度	215頭	13頭
平成28年度	509頭	18頭
平成29年度	232頭	21頭
平成30年度	650頭	27頭
令和元年度	736頭	20頭
令和2年度	810頭	28頭
令和3年度	301頭	53頭

※平成24年度は11月から3月
※令和3年度は12月末現在



パトロールに向かう
佐々木一夫さん(左須/右)
原田直志さん(深谷)

野生鳥獣による農作物被害が全国で問題になっていきます。令和2年度の全国の被害額は約161億円(農林水産省の公表による)に上り、各地の営農に深刻なダメージを与えています。全村避難を経て農業の再生に取り組み飯館村において、この対策は非常に重要です。
村は、震災により活動を休止していた飯館村有害鳥獣捕獲隊(現在の鳥獣被害対策実施隊)を平成24年に再編成。全村避難中の村内でイノシシ、サルの捕獲を進めました。また村内で営農が再開されてからは、農地を守る電気柵、ワイヤーメッシュ柵の貸与を行い、対策の有効性を確認しながらその向上を図ってきました。
村では、昨年4月、実施隊の中にサル駆除プロジェクトチームを編成し、サル対策を強化しています。
今後、小宮にある飯館クリアセンターの敷地内に、有害鳥獣減容化施設を整備します。令和5年度の稼働に向けて準備を進めています。